

燦!!前橋育英

県高校総体男子総合優勝11回

私大・国公立大学 合格者多数



ファイト!! 育英



サッカー王国、育英

日本一への道



活躍する育英陸上部

インターハイ・フィールド部門 優勝



打撃が冴える育英野球

甲子園を目指して

前橋育英高等学校は、「正直・純潔・無私・愛」を建学の精神として「人間味のある人間」の育成、常に国際的視野に立つて社会に貢献できる有為な人材を育成することを目的として、昭和三十八年、前理事長中村有三先生により創設されて以来、これまでに一六、五七三名の卒業生を社会に送り出してきました。本校の教育方針は、生徒の能力・適正・進路に応じた目的別教育であり、その期待にこたえて、各方面でその才能を十分発揮し活躍しております。

来年、創立四十周年を迎えることになりましたが、このすばらしい実績、永い伝統のもと更にスポーツの振興・学力



生徒の活躍が我が校の柱

学校長 中川豊美

学校教育法に基づく高等学校設置基準が一部改正となり、学校における「自己点検及び情報提供」が義務づけられることになりました。これまでも本校の協力機関が発行する「保護者会通信」や「前橋育英高校報」また学園が発行する「ぐんま育英」において、育英に関する情報を提供してまいりましたが、今後さらに広範囲にわたって提供する予定であります。

しかし、従来の広報紙の内容がスポーツに偏っているのではというご批判もあり、本紙ではスポーツ以外でも頑張っている生徒や卒業生にスポットを当ててみました。

そんな幅広いニュースを紹介し、本校の建学の精神である正直・純潔・無私・愛の道德教育が、日常の教育活動の中でいかたに生かされているかを知っていただきたいと思います。これこそ、本校が誇るべき特色であると確信するところであります。



理事長 武田孝雄

躍進する我が母校に 大いなる誇りと夢を

向上・進学率向上のための方策を、学校長を中心に教職員一体となって努力しております。さて、最近「心の教育・癒し・命の尊さ」が叫ばれておりますが、二十一世紀は物質・

経済優先の時代から人間性回復の時代といわれ、又今迄以上に国際化・情報化・少子化が進み、社会構造の転換などが予測されます。このような時代だからこそ「こころ」が大切であります。

特に高校時代は純粋な時期、この人生の大きな一コマで一番大切なことは、「生きる力」をつけさせ、「感動を得られる教育」の実践です。

幸い育英高校は、保護者会、同窓会、後援会の物心両面にわたるご協力のもと、感動と充実感をもたらす教育、常に時代を先取りした教育で、年々すばらしい学校づくりがなされております。

卒業生の皆さん、躍進する我が母校に大いなる誇りと夢を。

『建学の精神』

| | |
|---|---|
| 正 | 直 |
| 純 | 潔 |
| 無 | 私 |
| | 愛 |

前橋育英高校報

発行
前橋育英高等学校
合同紙広報委員会
前橋市朝日が丘町13
TEL027-251-7087
FAX027-252-9419

印刷
株式会社 ヤマザキ

- 主な内容
- 2面 平成15年度生徒募集他
 - 3面 スポーツの活躍他
 - 4面 保護者会だより
 - 5面 保護者会だより (進路講演会他)
 - 6面 同窓会だより
 - 7面 同窓会だより (私の近況報告)
 - 8面 後援会だより

二学科共、定員確保に自信 平成15年度 生徒募集

教頭 高田 孝

昨年の生徒募集は、普通科、体育科、保育科の三科共に定員を上回る成果を収めて終了した。特に保育科の定員を確保できたことは、次年度の募集に大きな自信となった。

体育科、保育科については、特に変更はなく、昨年と同じである。

【募集要項(概要)】

- 一、募集定員 合計五百二十人
 - 普通科 男女 三百六十人
 - 特進コース 百六十人
 - 進学コース 二百人
 - 体育科 男子 八十人
 - 保育科 女子 八十人
- 二、試験日程
 - ◎特待生および推薦試験
 - 試験日 特待生 一月十九日
 - 推薦 一月二十日
 - ◎一般試験
 - 合格発表 一月二十四日
 - 試験日 二月四日(学力)

【募集内容】
募集定員は同じであるが、選抜方法に一部変更がある。特待生試験は昨年まで理数コース、特文コース別に募集したが、次年度から特進コースとして一括募集し、二年生から希望により特進理数コース・文系コースにクラス編成を行うことになった。毎年コースの変更希望者が出て単位の調整に悩まされたことが、これで解消される。

◎詳細は募集要項をご覧ください。

学校ホームページ http://www.maebashiikei-h.ed.jp/index.htm

育英高校の所在地で地元、朝日が丘町自治会の今年度の役員皆さまです。

会合をとおして意見交換をしたり、土曜講座を見学してもらったりと地元の方とのおつきあいを通じて相互理解を深めております。

| 朝日が丘町自治会役員 | | | |
|------------|-------|-------|-------|
| 会長 | 鈴木 漸 | 副会長 | 河崎 清松 |
| 副会長 | 下畑 昭枝 | 書記 | 中野 利一 |
| 書記 | 中野 時男 | 計査 | 青木 廣孝 |
| 監査 | 齊藤 正夫 | 1組 組長 | 吉田 達夫 |
| | 伊藤 達夫 | 2組 組長 | 伊藤 達夫 |
| | 中野 利一 | 3組 組長 | 中野 利一 |

『群馬少年の船』に参加して

3-D 武藤 結美子(吉井中央中出身)

八月十七日、四泊五日の群馬少年の船が、東京湾から出航しました。私はその中で、十一人の団員の班長を務めました。団員は、小学五年生から中学三年生までで構成されています。楽しい船旅を想像していましたが、船は台風の影響で、激しく揺れました。

八月十七日、四泊五日の群馬少年の船が、東京湾から出航しました。私はその中で、十一人の団員の班長を務めました。団員は、小学五年生から中学三年生までで構成されています。楽しい船旅を想像していましたが、船は台風の影響で、激しく揺れました。

全国ユースフォーラムに参加して

2-16 金井 佳奈(木瀬中出身)

私は日本中の高校生世代の皆と一つのテーマについて話し合う「全国ユースフォーラム」に参加しました。色々なテーマの中、私は「真のバリアフリー」について話し合ってきました。

私は日本中の高校生世代の皆と一つのテーマについて話し合う「全国ユースフォーラム」に参加しました。色々なテーマの中、私は「真のバリアフリー」について話し合ってきました。

まず最初に「真のバリアフリー」に集った皆と自己紹介をしました。この自己紹介で皆の緊張もほぐれました。次は本題の話し合いです。まず一人一人が考えてきた、今思っている「真のバリアフリー」について話しました。皆の意見を聞いてみると、私とほぼ反対の意見を言っている人もいました。でも、なぜそう思うのか理由を聞く、なるほどと理解でき、その時初めて、今までは考えたこともない意

見に遭遇し、違った意見を持つことができませんでした。また、障害者の方の貴重な意見を聞くこともできました。それは私が考えるものとははるかに違うものでした。皆で話し合ったり、二人組になって目隠しをして介護や介護される側になったりと、色々な事をした後、私達は私達なりに「真のバリアフリー」とはこうあるべきだ、という結果を導くことができました。

員で協力しあった洋上オリンピック。普段は絶対に入ることはできない、操舵室・エンジンルームの見学。そして、船最大のイベントである、さよならパーティー。とても出会って五日間の友達とは思えない位、素晴らしい団結力を見せました。そして迎えた、別れの五日目。横浜港に着き、解団式を行うぐんまアリーナに着くまで、私達は疲れも忘れ、話続けました。

員で協力しあった洋上オリンピック。普段は絶対に入ることはできない、操舵室・エンジンルームの見学。そして、船最大のイベントである、さよならパーティー。とても出会って五日間の友達とは思えない位、素晴らしい団結力を見せました。そして迎えた、別れの五日目。横浜港に着き、解団式を行うぐんまアリーナに着くまで、私達は疲れも忘れ、話続けました。

青少年赤十字 高校生前橋地区 トレーニングセンターに参加して

2-18 小曾根 美穂(箱田中出身)

手話というと今まではどちらかというと、堅苦しいイメージがありました。この合宿に参加して、何か新しく、楽しいものだと感じられました。実際、完璧に手話が分からなくても「わかり合いたい」という気持ちがあれば会話はできます。手話は、ふれあいをしたいという気持ちを託した目で見ると「言葉、だと思えました。聞こえないはずの心の声も現れているような...。しかし、会話が形式的な内容になってしまい、自分が思っていたことが十分に話せなかったことが残念でした。そのため、もっと障害者とふれあう機会を

つくるべきです。健全な人達の社会ではなく、「障害者と一緒に生きていくこと」...それが、ノーマライゼーションでもあります。手話を知ることによって、より一層世界が広がることを私は期待しています。



スポーツの結果

◆インターハイ◆

体育科長 須藤 一郎

陸上部学校対抗フィイルドの部 優勝

自転車競技 エリミネーションレース優勝 武藤 篤弘

陸上男子

| | | |
|-------|-----|-------|
| 円盤投 | 準優勝 | 井上 喜貴 |
| ハンマー投 | 第3位 | 堀口 真 |
| ウエイト | 第3位 | 堤 阿練 |

ウエイト

| | | |
|--------|-----|------|
| 69 kg級 | 第3位 | 堤 阿練 |
|--------|-----|------|

「競え友よ熱き力を茨城で」をスローガンに高校スポーツの祭典、平成十四年度全国高校総合体育大会が八月、茨城県で開催された。本校から八クラブ、三十数名の生徒が県代表として出場した。今年も各クラブともに活躍がみられたが、特筆すべきは、何といつても、自転車の武藤篤弘のエリミネーション優勝であろう。さらに陸上競技に於いて、円盤投にて井上喜貴の準優勝、ハンマー投の堀口真の三位入賞も立派であった。ウエイトでは、堤阿練が69kg級で第三位入賞、フェンシングでは佐藤孝宏が個人サーブルにて第四位とそれぞれ活躍した。団体戦では唯一出場の柔道が予選リーグにて連勝し、決勝トーナメントに出場したが京都学園に惜敗した。

昨年に続いて学校対抗にて、フィイルドの部で優勝した陸上

部の活躍に盛大な拍手を送りたい。以下、インターハイでの各部の成績を列挙したい。

【水泳】
高飛び込み第七位・板飛び込み第七位 須田恭介(二一A) / 二百m第六位 吉井正和(二一三) / バタフライ第七位 山口一郎(二一A) / 学校対抗、飛び込み第六位入賞
【陸上】
100m準決勝落ち 井汲亮介(三一) / 円盤投第二位 井上喜貴(三一B) / ハンマー投第三位 堀口真(三一A) / 三段跳予選落ち 宮崎翔太(二一A) / フェンシング
サーブル第四位・フルーレベスト16 佐藤孝宏(三一B) / ボクシング
フェザー級一回戦負 高野義和(三一) / ライトウェルター級一回戦負 吉荒延政(三一A) / ウェルター級一回戦負

◆第57回国民体育大会(高知国体)

第五十七回国民体育大会(高知国体)の夏季国体が九月二十日〜二十四日、秋季国体が十月二十一日〜二十四日(陸上競技)の種目は二十六日〜三十日迄、高知県にて行われる。本校からは次にあげる選手の出場が決定している。今年も各競技に於ける本校選手の活躍を期待したい。

久保雄生(二一十一) / 「ウエイトリフティング」69kg級第三位入賞 堤阿練(二一B) / 69kg級第五十位 堀口康文(二一A) / 「女子テニス」シングルス一回戦負 細野朝海(三一三) / 「自転車」個人タイムトライアルロードレース第十三位 武藤篤弘(三一B) / 個人ロードレース第十七位 渡辺将大(二一B) / 4kmチームパーシユート第十五位

(武藤、外處、渡辺、寺田) / ケイリン一回戦 寺田敏也(二一十一) / ポイントレース予選 渡辺将大(二一B) / 3kmインデヴィデュアルパーシユートレース第八位・エリミネーションレース優勝 武藤篤弘(三一B) / トラック学校対抗第十五位(総合学校対抗第十五位)(一〇得点)

【柔道】
団体予選 倉吉北五対〇、旭川大二対一 / 決勝トーナメント一回戦 京都学園 対三負

【夏季国体】
◎水泳 須田恭介(二一A)、吉井正和(二一三)、山口一郎(二一A)
◎サッカー 小暮直樹(三一A)、森賢一(三一A)、広井友信(三一B)
【秋季国体】
◎ウエイト 堤阿練(二一B)、原徹少年監督(教諭)
◎ボクシング フェザー級 高野和義(三一)、ライトウェ

◎陸上競技 100m 井汲亮介(三一)、少年Aハンマー投 堀口真(三一A)、少年A三段跳 宮崎翔太(二一A)、少年B 三千m 小野裕幸(二一)、少年共通円盤投 井上喜貴(三一B)、安達友信男子少年監督(教諭)
◎なぎなた 福田佳小里(二一)
◎自転車競技 出場候補者あり 現在選考中
(現在わかっている範囲で記載) 以上
その他
【第三十七回都道府県自転車競技大会】
◎五百mタイムトライアル 第三位入賞 岡希美(二一三)

村上 政範 ~新潟大学理学部~ (郡大附中卒)



2週間という短い間でしたが、生徒に数学を教えて、自分の考えていた教師としての理想と実践した現実との大きな壁を感じました。予定しておいた進度、理解させやすいように考えた指導方法、板書計画、それら全てが自分の理想の中だけの計画であり、生徒との授業での対話による理解、内容を理解する時間というものを考慮していなかったということが、実際の授業を通して分かりました。しかし、表現力が乏しく、理解にくい内容になってしまっても、真剣に内容を理解しようと考え込む生徒や、分からない所を問いかけてくれる生徒、そんな生徒たちとの授業での対話は授業を進めていく上で、楽しい楽しい授業を行う糧と同時に至らない表現を知る機会となりました。何度か授業を受け持たせて頂き、反省点を考慮して改善したつもりでしたが、実力不足は顕著になるばかりです。分からない人に分かるように教えるということがいかに難しいか、授業を実践してみても初めて理解しました。難しさを知ることとは、自分勝手な理想を見直せるということになります。授業の内容を教えるだけではなく、普段の生活における礼儀も生徒に教えることが教師の仕事ですが、この仕事は自分にとって一番の難題となりました。規則は守らなければいけないということを生徒に理解させるといのは、自分の教師としての人間にもよる、そんな気もしました。

短い間に色々なことを学びました。何よりも生徒たちはみんな純粋でかわいいと思いました。そう思えるから生徒たちと様々な事でぶつかりあえるのだと思います。今回の教育実習での経験を自分のこれからの日々で役立てていきたいと思ひます。

教育実習を終えて

関口 愛 ~学習院大学英米文学科~ (群大附中卒)



私にとってこの二週間は決して忘れることの出来ない貴重な経験となりました。温かいご指導を頂いた教職員の方々、生徒のみなさん、本当にお世話になりました。私自身まだ学生的身でありながらも先生方には教師と同じように扱って頂き、また生徒さんからは「先生」と呼ばれる状況に急になり、最初は戸惑い、予想していた以上に難しさを感じました。教壇実習においても毎回指導案を作成し、予行演習をして授業に臨むのですが、なかなか思うように進まず、時間通りに終えることが出来ませんでした。「あっ」という間に授業は終わりその度に反省の連続でした。

私は大学で英米文学を学んでいることから英語を担当させて頂きましたが、この実習を通じて自分がいかに勉強不足であったかを実感しました。特に文法では何度も同じ間違いを繰り返し、反省しきりでした。とにかく人にも教えることの難しさを学びました。生徒というのは教師から学んでいる。教え方次第で学習に対する興味と意欲も変わっていくのだと実感しました。教師と生徒といつても人間同士ですから、教育という場を通しての信頼関係や尊敬といった感覚も重要であるとも思いました。私がこの実習を通じてもっとも嬉しかった事は、「関口先生の授業を受けて私も英語の先生に興味を持ちました。」というある生徒の言葉です。これを聞いて本当に教育実習を行って良かったと心から思いました。人に少しでも影響を与えられる、それは素晴らしいことです。こんな喜びを日頃経験されている先生方を羨ましく思います。

今後、私は自分に磨きをかけ、先生方のように良い意味で人に影響を与えられる人間になっていければ幸せだなと感じました。それを気付かせてくれた生徒のみなさん、そして先生方、この二週間本当にありがとうございました。

保護者会だより

今日の社会情勢は、国際化・高度情報化・少子高齢化時代であり、これまでの社会経済構造が大きく変化し、

教育も大変革の時期を迎えております。

私自身、最近気になることは自分さえよければそれで良いという自己中心型の若者が多く見受けられることであります。これは、今までの日本社会が、経済優先の中で大量生産、大量廃棄が推奨され質よりも量が優先され便利さのみが追求され、同時に都市化や核家族化の進展により、身近にあった自然が減少し、地域や近隣とのつながりも薄れたことが自己中心型の若者の増加の要因と考えております。やはり、上州人は「雷と空つ風義理人情」ということばにあるように、義理人情を重んじ周囲への思いやりの心を持って郷土に対する愛着心を育む人間を育成することが、今の教育に強く求められていると痛感いたしました。

幸い本校は、創立以来多くの学校関係者皆様方のためまぬご尽力により「正直・純潔・無私・

雷と空つ風義理人情の郷土愛



保護者会長 狩野 浩志

愛」を建学の理念として群馬県屈指の私立高校として文武両道にわたり目を見張る発展をなしとげてまいりました。私は、本

でもあり、最善を尽くす決意でありますので学校関係者各位のご指導とご協力を切にお願い申し上げます。

供達が個々の能力を充分発揮できる個々に応じたきめ細かい指導に取組まれるよう念願してやみません。こうした教育環境を整備することが、私ども保護者会に課せられた使命

校に対し大いに期待することは、この輝かしい伝統を継承しながら子供達が、常に他人を思いやり感謝の心を忘れることなく人の痛みをわける教育を実践していただくことであります。今後とも教職員の皆様方におかれましては、前橋育英高校らしき私学高校らしい特色を生かし、子

を与えてくれたラベンダーとの出会い、そして苦難の中で本当に意味のある物を作ろうとする時の無限の力、思い続ける執念があれば必ず他人の協力が得られるそうです。中でも見えない物、物を言わない花、香、土等にしつかり目を向け、物質の豊かさで無く心を一番大切にすることが今の日本には欠けている事です。これが教育、心の荒廃を招いたのではないか。自分の子供の事だけで無く中学、高校

の頃が一番大切な時であると皆で共に考えていく機会にして欲しいという内容でした。確かに今の親子の関係は物に満たされ、心の会話が少なくなり本當の心がわかり合え無いのが現実です。この大会を機会に子供との心の会話を大切に行きたいと思えました。最後にこの大会に参加させていただきまして有難うございました。

マナーアップ運動

副会長(生徒指導委員長)

東園 和茂

第一回マナーアップ運動が六月四日に、第二回は、九月十八日にあります。

第一回、二回目共、校長先生を一、生徒指導の先生方、保護者会、生徒指導部の皆様の参加により行われました。

早朝より生徒の登校する姿に接し又「あいさつ」を交わす中で、どうか無事故という思いで、交わっています。

そして、「おはようございます」と、帰ってくる元気な言葉に街頭に立つ私たちも元気を貰った様な気持ちになります。

生き生きと登校する生徒の姿に育英高校の素晴らしさが、あると感じます。

今、対人関係のストレスを嫌い、一人で過ごすことを願う子供たちが、増えていきます。

面と向かって話すより、携帯電話や電子メールでのコミュニケーションを好む傾向も有ると聞きます。

自分の小さな殻に閉じこもるのではなく「人と人、人と自然の結びつきや友情、信頼の絆こそが、自分自身を豊かにする財産だ」と考えます。

小さな事ですが、このマナーアップ運動を通じて心の図られたらとの思いです。

第51回全P連大会参加報告

書記(生徒指導委員)

山田 洋子



北海道大会にて

降り立った北国の空港は早くも十四度という涼風が吹き抜けていました。旭川にて「深呼吸する教育の大地」をメインテーマに全P連北海道大会が八月二十一日、二十二日、二十三日に開催されました。今大会における全体会は、旭川大雪アリーナにて富良野の「ファーム富田」会長富田忠雄氏による『ラベンダーと共に生きて』という記念講演が行われました。講演では広大な富良野の土地で農家を営み、生きていく指針

輪読会に参加して

副会長(文化委員長)

望月 美津子



八月九日に小茂田教頭先生、久保田先生のご指導と十一名の文化、総務委員さんの御協力を頂き輪読会が行われました。

題目は「学校/差異なき分身のたちのまゝいじめの場の構造を讀む」でした。本離れが進んでいます。私共の一人です。

久々の読書で辞書を片手に悪戦苦闘しました。二度読み直しましたがとても難しい内容でした。自己紹介を兼ねながら、本の感想を一人一人話してもらい進みました。「いじめ」「登校拒否」という二つのテーマについて話

を

すこととなり、今までの自分の子育、子供、親の悩み等たくさん御意見や感想を話し合い、大変有意義な時間を過ごすことができました。いじめから高校中退、家庭内暴力と地獄のような生活の中で、父親が真剣に向かい合ってくれ、時間をかけて接することにより心を開いてくれた。現在は大検を受け、自分の希望する学部に入り楽しそうに大学生活を送っている。前にも増して、家族を思う気持ちが深まったという話を聞き、胸が熱くなる思いがしました。二時間の予定を三十分オーバーし会を終了しました。いろんな人の子育てや考えを話し合うことで大変勉強になった輪読会でした。

進路講演会

副会長（進路指導委員長）

根岸孝幸

去る七月二十七日に保護者会進路講演会が視聴覚室で開催されました。当日は、大変暑い中、三百名以上と例年よりも多くの保護者の方に出席頂きました。全体会の講演に本年度は、桑田篤志先生を御招きし「高校生をとりまく進路の現状」と演題に入りこれからの進路を考えるために実際の職業に就くまでの人生経験の話等、大変広範囲の話しを受け賜り時間が経つのが早い程の講演でした。

分科会に於かれては、各学年

毎に別れ、三年生については、就職、専門、短大、四大、と各クラスに別れ、各進路指導の先生との話しや質問等が交わされました。終了後も熱心な保護者の方が直接先生と話し合いをしている姿が見受けられ、講演会が終わりませんでした。

現在の日本経済の現状は大変厳しく、今後の進路選択に保護者が子供と一緒に考えて取り組んで行けたらと、保護者会並びに先生方と思っております。

大学訪問「進路選択の一端へ」

副会長（進路指導委員）

柴田明美

本校進路指導委員会を中心とした「平成十四年度研修視察（大学訪問）」は十月五日（土）に行われます。

本年度は、実施に向けて会議の結果、「進学者が比較的多い県近郊の大学を」ということで、東京電気大学と大東文化大学に決定しました。

本校からも、両大学とも年々合格者が増え在学生もいます。

東京電気大学は、本部が神田にあり、三つのキャンパスをもっています。その中で埼玉にある理工学部を見学する予定です。

大東文化大学は、板橋校舎に本部を置き、東松山校舎と二つのキャンパスがあり、今回は東松山校舎を見学する予定です。

子どもの進学（選択）の一端になれば…と有意義な一日となる様に行きたいと思っております。

学年別懇談会報告

恒例の学年別懇談会が、1学年は4/26(金)、2学年は5/31(金)、3学年は5/2(木)に開催されました。参加数(参加率)は、1学年425人(64%)、2学年249人(44%)、3学年184人(40%)、全体で858人(51%)と昨年度と比べて若干低下しました。最初に全体会(教務、進路指導、生徒指導からの説明等)を約1時間で行い、その後、教室に入っのクラス別懇談会になりました。クラス担任と、クラス実行委員さんが中心

となり、①進路関係 ②学習関係 ③生活関係 ④その他 の項目別に活発な意見交換が出来たようです。クラス実行委員さんに、質問・要望事項等をまとめて頂きました。大方は担任より説明があったと思いますが、学校全体で考えるべき問題等につきましても、今後検討させて頂きたいと思っております。たくさんのご意見ありがとうございました。最後に、多くの質問の中から一部を抜粋しその回答を掲載します。

質問1

大学・育英短大・専門学校の難易度・推薦基準・費用はどの位ですか。指定校一覧・パンフレット・大学資料が欲しい。看護系の勉強法は。

回答

担任・進路指導室の先生に相談して下さい。

質問2

家庭学習を習慣化するには、宿題を出して欲しい。進路調査で意識が高まった。何か目標を持たせるキッカケを作って欲しい。勉強意欲が湧く雰囲気。

回答

授業内容が良くわかれば、勉強は面白くなるものです。小テスト用宿題等が出ていますと思いますが、教科書の予習もして下さい。目標・やる気を出すキッカケを作るのは教師の役目です。希望・夢・目標は高く明確にすることです。

質問3

修学旅行用プリント・補習計画通知文等の『連絡書』が家に届かない。

回答

郵送は費用の点から無理である。『確認書方式』で行いたい。

質問4

自転車の鍵の保管について。アルバイトをさせてほしい。

回答

自転車の鍵の保管は本人がする。自転車の鍵は2重ロックで。

アルバイトは経済的な理由がある場合に認めています。長期休暇中は別に考慮します。

質問5

2年生のセンター入試対策(5教科7科目)について。

回答

化学は補習を行っています。文系数学Bは2年次で半分終わるよう補習します。

3年次、早く演習態勢に入れるよう授業進度を速めたい(特に数学・英語)。

質問6

遅刻・服装・頭髪等を厳しく指導してほしい。

回答

指導は、学年を中心に行っていますが、生徒指導部が中心となる一斉指導も行い徹底を図りたい。

質問7

育英短大は4年制大学になりませんか。

回答

当面4年制大学になりません。現在、3年制の専攻科があり、他大学(群大・高経大等)への編入も出来ます。今春、本校卒業生が群馬大学社会情報学部3年に編入しました。来春の内定者も複数でているようです。

チョット
良いはなし

夏休みも終わり授業が始まった去る九月四日の陽もつまりかけた雨の降る夕方の話です。

さる婦人が市内の前橋協立病院(天川町)で見舞いを済ませ玄関に出たところ、不意の雨にどうしたものと思索顔をしていましたら、そこに三人連れの女子高校生が通りかかってその一人がどうぞと傘を差し出して、そして雨の中を立ち去ったという話でした。

その婦人はいたく感心して高校生が育英生で有る事がわかってわざわざ学校迄お礼の連絡がありましてその善行がパッと朝の虹の様に広がったという心温まる話でした。その生徒は二年保育科に所属する柏原菜里さん(前橋広瀬中出身)古谷野歩さん(前橋広瀬中出身)佐々木彩香さん(前橋五中出身)でした。



第29回 吹奏楽部 定期演奏会

10月6日(日)
開演PM6:00
於：前橋市民文化会館

前橋育英

雄渾

同窓会
だより

母校への誇りをもって



同窓会長 関根 映一
(第一期生)

同窓会員の皆様には、日頃より、母校の発展に、多大な御尽力を頂き、熱く感謝申しあげます。いまや、育英高校は、群馬の雄となり、多くの実績を残しております。皆様御承知の通り、県の高校総体に於て、男子は四年連続、十一回目の優勝を成しとげました。なかでも、サッカー、陸上、水泳、柔道、ウエイトリフティング、ボクシングなど、めざましい活躍がみうけられました。これもひとえに、選手を始め、監督、コーチ、先生方、保護者の皆様の御努力の賜ものと考えております。又、昨年からは今年にかけて、母校のサッカー部は、全国第三位という輝かしい歴史をつくっていたいただきました。さらに又、母校サッカー部出身の、松田君が、ワールドカップで、大活躍されました。我々OBとしても、なお一層、母校への誇りと、愛着心というか、郷土愛に燃え、心にきざんだ状況があつたと思えます。

いずれにしても、文武両道をめざす育英生として、気宇壮大な気持ちをもって、社会の中で、グローバルな活動を展開していかなばならないと思う昨今であります。今や時代は、大きく変革を求めている。そして、平和を強く希求していると考えます。同窓会の皆様、母校の活躍に期待し、おおいに、社会で、はばたこうではありませんか、そしてなお、我が人生に悔いなしと言える様な、心豊かな一生を送りたいと思えます。ちよつとオーバーな表現になってしまいましたが、一期一会という言葉もありますので、我々一期生は、五十代になつても、これからだという気持ちで頑張りたい。さらなる母校の発展を祈念して挨拶とします。

大空の向こうを目指して

岸 晃孝
(第二十五期生)
(宇宙開発事業団(NASDA)広報室)



二〇〇二年九月十日(火)、種子島宇宙センター上空に広がる大空には雲ひとつなく快晴。空を見上げていると、まるで自分自身が青空に吸い込まれてしまふような感覚に陥ります・・・。

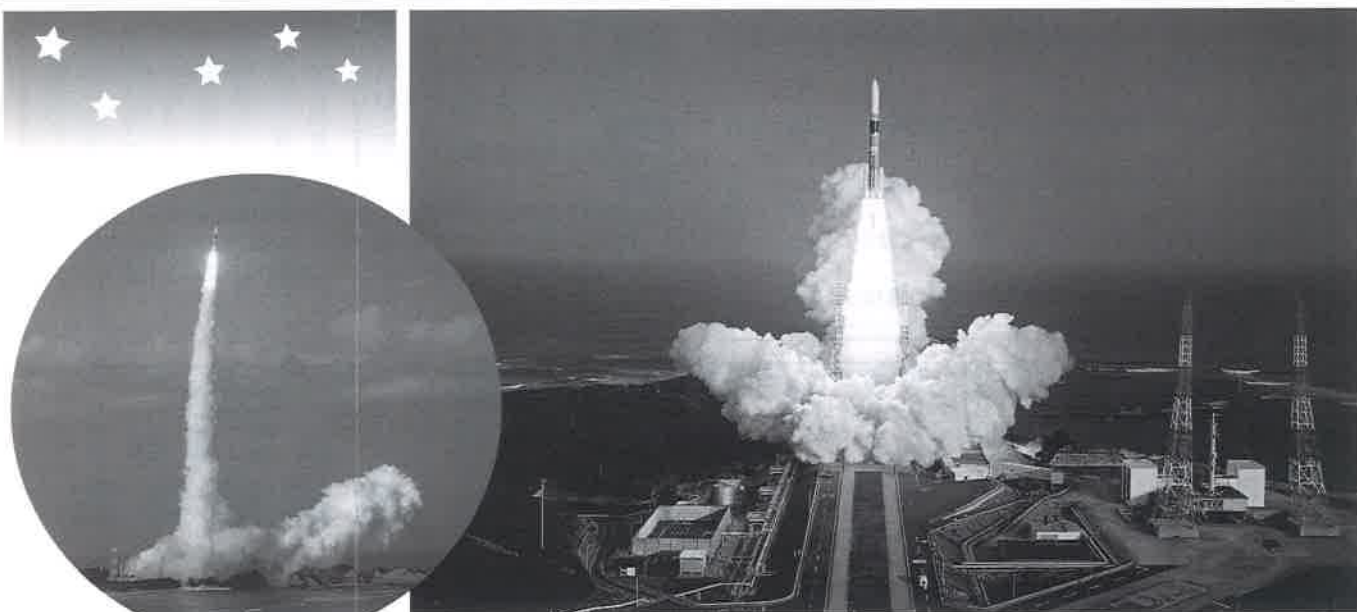
この日、日本の主力ロケットである、H-IIAロケット“三号機”が打ち上げられ、まさに青空に吸い込まれていくように宇宙へ向けて旅立つていきました。

私は今、宇宙開発事業団(NASDA)広報室に勤務し、日本が取り組んでいる宇宙開発や宇宙そのものについて広く皆さんにお伝えするべく、日夜駆けずり回っています。宇宙開発というと、皆さんは何を思い浮かべますか？まずアメリカNASAのスペースシャトル打ち上げシーンや宇宙飛行士が地球を背景に宇宙遊泳をしているシーンなどが浮かんでくると思えます。また人類初の月面着陸を行っ

たアポロ計画やロシアの宇宙ステーション「ミール」などの印象も強いでしょう。では、日本に目を向けて見たときはいかがですか？おそらく年一回、種子島からのロケット打ち上げがニュースなどで流れる程度の印象ではないでしょうか？広報という仕事は、マスコミ・メディア関係者や学校教育関係者をはじめ、小中学生、ごく普通の主婦の方まで、年齢性別問わずさまざまな人と接する機会がとて多いものです。しかしながら、実際にその人たちと話をしてみますと、「まだまだ知られていないな。」ということを痛感させられてしまいます。

今年の年末には地球観測衛星を宇宙へ運ぶH-IIAロケット四号機の打ち上げ、来年の初めにはH-IIAロケット五号機打ち上げや、「日本人宇宙飛行士」の野口聡一さんが現在建設中の国際宇宙ステーションへ搭乗するといったイベントが目白押しです。是非、その頃の新聞やニュースには注目していただきたい。

これから秋から冬にかけて空気が澄み、夜空が綺麗に見える季節になります。皆さん、ちよつと外へ出て、星空を見上げ壮大な宇宙を感じてみてはいかがでしょう。疲れた心も和らぐこと間違いありません。



成功した種子島宇宙センターでの発射の瞬間

私の近況報告

家を建てるなら 県産材で

小池 清隆
(第二十五期生)
(県庁職員)



私は今年で三十一才になります。就職してから八年目になり、一人前に仕事をしている年齢ですが(自分の場合は、どうか分かりませんが)、今回は、今まで経験してきた仕事についてお話ししたいと思います。

私の職場は、群馬県庁です。役場と違って皆さんにはあまり馴染みがないかもしれませんが、県庁では皆さんの生活に関係する様々な仕事をしています。私も入庁するまでは、県庁ではどのようなことをしているのかほとんど知らなかったのですが、そんな私の最初の職場は病院でした。恥ずかしながら、県立の病院があることも知らなかったのですが、とても驚きました。最初のうちは戸惑いもありましたが、病院には様々な職種(医師や看護師など)の人がいて、その人達の自分とは違う価値観のよう

なものに触れることができたのは、今にして思えば最初の職場が病院だったのはよかったです。次の職場は、教育委員会でした。ここでは、小中学校などの施設整備の補助金を担当していました。建物ができあがると現地調査に行くので、机に向かっていないことは少なかつた気がします。おかげで県内七十市町村

の名前と場所が一致するようにになりました。三番目は現在の職場ですが、林業振興、特にスギなど県産材の利用推進をしています。ここに来るまで知らなかったのですが、人工林は、間伐などをして手入れをしてやらないと、災害などですぐに崩れてしまうひ弱な森になります。ふるさとの木を使うことがふるさとの山を守ることにになります。皆さんに県産材の良さや使う意義を知っていただくために木工広場などのイベントを開催していますので是非参加してみてください。

木材を知れば知るほど木の魅力にはまってしまい、将来家を建てるなら県産材で建てたいと思っているこの頃です。

今の私の原点は育英高校

桑原 万里子
(第二十八期生)
(福島県公立高校教師)



私はいま、地元を離れ、福島県の高校教師として勤めている。昔から憧れていた「教師」としての人生を、歩み始めたところである。そして現在、担任しているクラスは、女子のみのクラスで、放課後テニスコートで一緒に汗を流している硬式テニス部は、男子のみの部活である。初めはこの両極端な状況に、どのように対応していくか考え込んでいたが、いざ始めてみると、お互い

にないものを補うことができ、

新しい発見も多い。大声をあげながらも、楽しみながら充実した毎日を送っている。生徒と接するなかで、教えられることはやはり人と人とのコミュニケーションの大切さである。

初めて担任になったクラスでは、入学後一ヶ月間はほとんど笑顔を見ることができなかつた。初めてだからこそのしつかりやらなければ、意気込みすぎたせいもあり、厳しさばかりが先走っていたようだ。会話は言葉のキャッチボールと言われるように、一方的な指導ばかりでは人間関係が築かれるはずもない。問題を起した生徒から、初めて自分の相手を受け入れる余裕のなさに気づかされた。それから、まず生徒のよい部分を探しだし、褒めることを忘れないように心掛けてきた。そして、毎日の生活の中で、ほんの少しの時間も無駄にせず、できるだけ多くのことを一緒に行動してきた。その甲斐あつたか、最近になってようやく、一人ひとりの見えない部分も、見えてきたような気がしている。

本日に毎日、試行錯誤の連続である。教育という、人と人との関係には、決まったマニュアルなど存在しない。だからこそ、生徒と気持ちが通じた時の喜びが、大きく感じられるのかもしれない。こうした今の私の原点は、育英高校で過ごした高校生活にあるのだと改めて実感している。あの時、最後まで諦めずに努力することを教えてくれた先生方や、多くの友人に心から感謝したい。そして、これからも日々精進していく決意である。

『なぜ』とこう 言葉に導かれて

(株)三河屋代表取締役
清水 克英
(第一期生 野球部後援会会長)



研究室の風景

『なぜ』という言葉は私にとつて特別な言葉です。

それは高三の三月大学の合否報告の為に登校した帰りの道で出来事でした。育英前からバスに乗り後部座席に座ると古典の山口先生が私に気付き隣に座られました。

「清水、大学はどうした。」とだめでした。「これからどうするんだ。」

「漬物屋になる為に宇都宮に行きます。」先生は私の言葉に驚いた様子でこう質問されました。『なぜ?』それでも激励していただきました。

四月に宇都宮に出発し漬物屋の修行を始めましたが、挫折し六月に群馬に戻りました。その後父から、群馬には海がないのだから、魚屋になって群馬の人々に美味しい魚を提供したらどうかと勧められ魚屋を志しました。今後、困難な状況にあつても常に明日を夢に思い描き、希望を前へ進む原動力として夢を実現できる様努力して行きたいと思ひます。

華やかな甲子園のグラウンドに立つまでは地道な練習や努力を積み重ねなければなりません。挫折感を味わいあきらめたくなくなる時もあるでしょう。しかし、すぐに結果の出ないような事をコツコツと地道に積み上げていく事が、夢へ一歩一歩近づかせてくれます。

親子2代同窓生



設楽 正幸
(第二期生)
恭子
(第四十期生)

現在、私は郵便局に勤務していますが、今年八月の異動で、埼玉県の川口北郵便局に配属になりました。そこで偶然にも育英卒業以来会う事がなかつたク

ラスメイトと再会し、郵政事業発展のため、共に励まし合い頑張っております。今年、娘が将来の目標を持ち保育科に入学し、親子二代となりました。娘自身も歳児から六年間、保育園で多くの先生方にお世話になりました。子供の頃より漠然とではあります。将来の夢として保育士という気持ちはあつた様です。途中で方向転換もあるかもしれませんが、今は見守つてゆこうと思つています。

修め、未だこの記録は破られていません。卒業してから現在に至るまで、妻と娘と三人で育英グラウンド、球場へ行き、陰ながら応援してきました。そういう環境で育つた娘は当然の様に、野球部に入部し、現在マネージャーとして頑張っています。出来れば娘が在学中に、甲子園へ応援に行く事、これが私の夢です。



今秋、中毛リーグ優勝

| 秋季大会 | |
|------|------|
| 対 中央 | 7-0 |
| 対 前商 | 6-0 |
| 対 太田 | 16-0 |
| 対 樹徳 | ? |

くれるのだと私は信じています。どうか夢を叶える為の努力は惜しまないで下さい。これが皆さんへ贈る私からの切なるメッセージです。今後とも野球部を温かく見守り応援して下さいませようお願ひ申し上げます。

常に上位入賞の体育クラブ、また充実した活動を繰り広げている文化クラブの皆さんの更なるご健闘を期待致します。

未筆ながら、育英高校の益々の飛躍をご祈念申し上げます。

後援会だより

最近の前橋育英高校は、困難にあえて挑戦し、困難をのりこえ「前橋育英」の新しい道を切り開きつつあります。

それは、サッカー全国大会への度重なる出場、通算11回目の県高校総体男子総合優勝、夏の全国高校野球選手権群馬大会での本校硬式野球部のめざましい活躍など、そして一方では国公立、有名私大への進学率アップ



前橋育英高等学校 後援会長 前田 勇

『時代の変革』に挑戦

学校の在り方も大きく変えようとしております。明日の前橋育英高校を考えた時、現状に甘んじてはられないものが迫って参ります。

と就職の実績は素晴らしいものであります。まさに文武両道の私学の伝統校の風格を感じます。時代の流れは、少子化に向い、

中高一貫教育が時代のニーズであるならば、それに進んで挑戦すべきではないでしょうか。又生徒・ご父兄が描く学校イ

メージに合った教育体制、学校施設になっていくだろうかと。そのような意味も含めて、今年度、後援会、保護者会、同窓会共催で11月8日9日、山梨学院大学(付属中学校、高等学校)へ研修旅行を行います。

今春、東大へ三名が合格した山梨学院大学付属の中高一貫教育の成果などを学べるものと思えます。

後援会は前橋育英高校の発展のため、今後とも努力して参りたいと存じますので御支援、御協力を切にお願い申し上げます。



昨年の研修旅行・金沢経済大学にて



昨年・金沢兼六園で

優秀選手、団体を後援会で表彰

全国インターハイ(茨城)で

育英生大活躍、入賞者多数



インターハイ 自転車競技

男子陸上フィールド競技団体優勝 自転車競技で武藤篤弘君が優勝 「後援会」会則により表彰

茨城インターハイでは、右の優勝者も含め2団体・9個人が入賞を果たしました。後援会としては、会則第四条(5)の(1)の表彰規定により、全国大会優勝の個人、団体を表彰いたしました。おめでとうございました。

見聞を広め

「前橋育英」の更なる発展を

学園関係者合同による

先進校視察研修旅行実施

今年、山梨学院大学と 付属中・高等学校を視察 11月8日(金)〜9日(土)予定

学園本部・高校・保護者会・同窓会・後援会合同による研修旅行が今年も計画されています。

昨年は、12月7日〜8日に中高一貫、さらに金沢経済大学を併せ持つ、石川星陵高校へ行きました。冬の金沢「兼六園」から能登半島へと、楽しいバスの旅をすることが出来ました。

日程表

| | |
|-------------------|---|
| 1日目 (11/8) | <ul style="list-style-type: none"> 本校発(AM8:00) 関越道 上信道 昇仙峡他見学 山梨学院大学 石和温泉(泊) |
| 2日目 (11/9) | <ul style="list-style-type: none"> 石和温泉 戸沢ぶどう園 恵林寺 雁坂峠 秩父信越道 上中央道 本校着(PM4:00) |

研修会はこれまで6回実施しており、昨年は久しぶりに復活して会員皆様方との親睦が図られました。

今年も上記日程で実施しますのでふるってご参加下さい。案内状は10月上旬に発送いたします。

担当 事務長 根岸 迄

特に星陵高校では、北陸の雄としてのスポーツや進学面での実績、素晴らしい新築の校舎やそこで学ぶ生徒諸君の姿に、さすがの思いを深くしました。また

視察研修の日程が左記の様に決まりましたので皆様のご参加をお待ちしております。11月紅

た、同校出身の巨人松井選手の話、サッカー部のこと、専用の陸上競技場や野球場など、目を見張るような設備に驚かされました。今年、やはり中・高一貫、山梨学院大学関係の教育環境と内容を見させていたたく方向で計画・接渉をしています。同校高等学校からは、今春東大に3名の合格者を出すなど、学力的にも注目されていると同時に、山梨学院大学と言えば、駅伝でその名を馳せたことは、よく知られているところです。

ラヴェンダー
Lavender

美しい紫の花色と芽香で多くの人に愛される知名度の高いハーブ。鎮静作用があるので、受験生やスポーツの疲れを癒すにはハーブピローなどに使用すると最適です。栽培方法は、苗を購入するか、挿し木で簡単に増やすことができます。

花ことば...「優美」「感謝」「気品」

合同紙広報委員

- 保護者会 望月美津子(文化委員長)
- 同窓会 吉田 幸一(副会長)
- 後援会 城田 博巳(常務理事)
- 学園 中村 義寛(副理事長)
- 高校 佐藤泰一郎(教頭)
- 根岸 豊年(事務長)